

伊達市総合防災訓練の実施について

災害時における応急対策が迅速かつ的確に実施できるように防災対策を確立するとともに、市民の防災意識の高揚を図ることを目的に、総合防災訓練を実施します。

1 日 時 10月27日（土） 8時～12時

2 場 所 伊達市役所、東根川堤防（保原町字舟橋地内）、中野病院、
保原小学校

3 参加人数 600人

4 訓練想定

- (1) 台風による豪雨で、降り始めからの総雨量が200mmを超え、河川の水位が急速に上昇し、周辺での浸水の恐れが生じた。
- (2) 東北地方南部を中心にマグニチュード7.4の地震が発生し、伊達市で震度6強を観測した。これにより、家屋倒壊や火災が発生し、多数の負傷者が出たほか、ライフラインにも甚大な被害が発生した。
- (3) 原発事故を心配した浜通り市町村の住民が避難を開始し、県を通じて避難者の受け入れ要請がされた。

5 訓練内容

(1) 伊達市役所 8時～8時25分

- ①非常召集
- ②災害対策本部設置
- ③通信、被害状況調査

(2) 東根川堤防 8時30分～8時50分

- ①消防団による水防訓練（土のう積み、シート張り）

(3) 中野病院 9時～9時30分

- ①医師、看護師による入院患者などの避難誘導
- ②救急隊による検索救助
- ③はしご車による救出

(4) 保原小学校 9時30分～12時

- ①避難所の開設、運営
- ②負傷した避難者の応急手当
- ③AEDによる心肺蘇生訓練（市民参加訓練）
- ④放課後児童クラブ（ほばら児童クラブ）児童の避難
- ⑤福島県消防防災航空ヘリコプターによる教職員の救出

- ⑥浜通り市町村からの避難者受け入れ（スクリーニング、避難者名簿作成）
- ⑦災害ボランティアセンターの設置
- ⑧初期消火訓練（市民参加訓練）
- ⑨炊き出し、配給、給水訓練
- ⑩保原小学校防災設備設置・操作確認

5 主催者 伊達市

6 参加・協力団体

福島県、伊達市消防団、伊達市消防組合消防本部、伊達警察署、福島河川国道事務所、陸上自衛隊福島駐屯地第44普通科連隊、福島県消防防災航空センター、東北電力㈱福島営業所、東日本電信電話㈱福島支店、(社)伊達医師会、(医)敬仁会中野病院、伊達市社会福祉協議会、伊達市赤十字奉仕団、伊達市女性防火クラブ、伊達地区交通安全協会、伊達市交通教育専門委員、町内会（市柳第1～第4、中村第1～第5、赤橋、十日町、宮本、五日町、泉町、西町、柏町、小幡南部、小幡北部）

7 その他

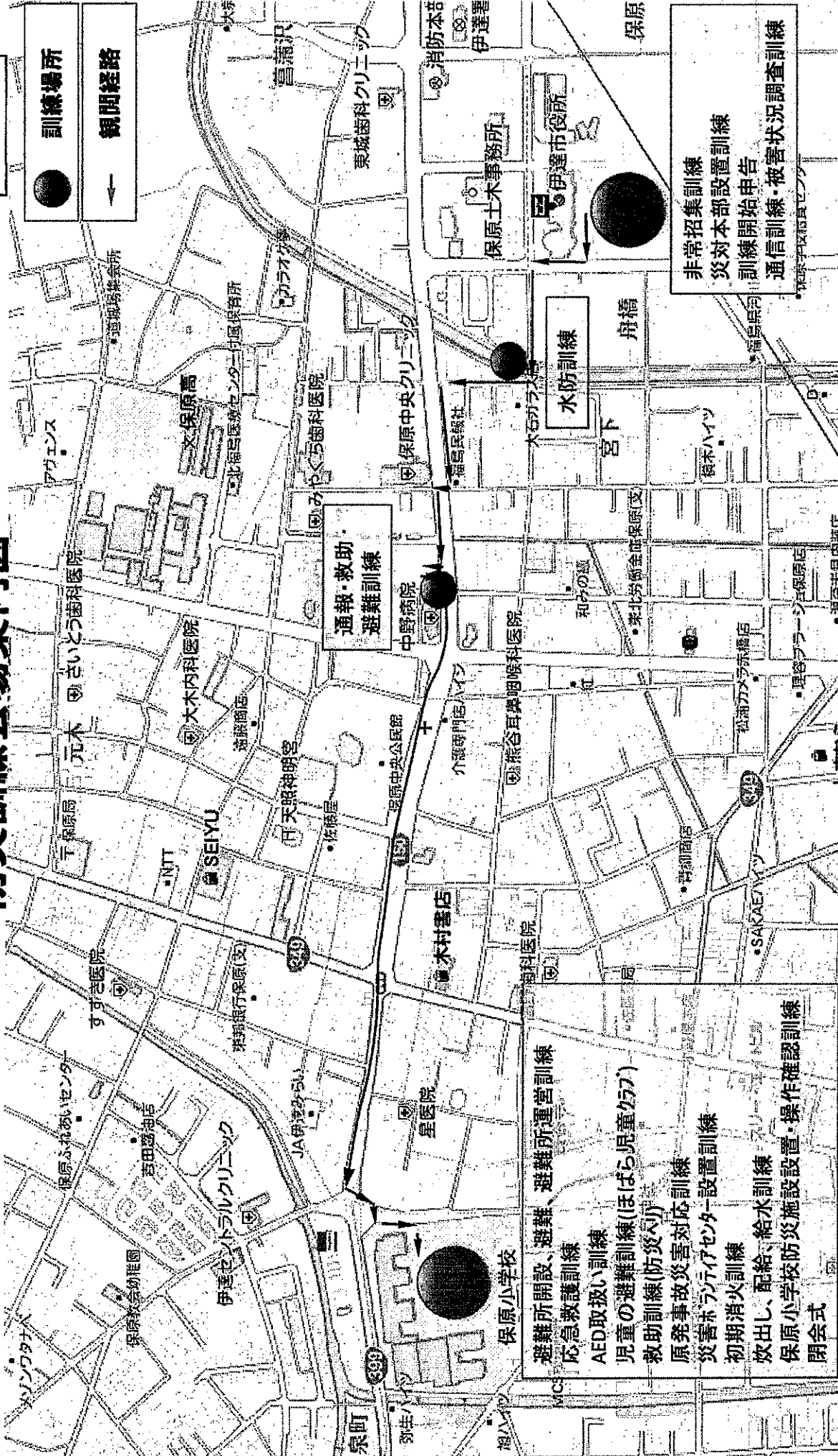
- (1) 保原小学校南側駐車場で、起震車、はしご車などの展示、体験搭乗を行う。
- (2) 保原小学校小アリーナで、災害写真パネルや防災用品などの展示を行う。

防災訓練会場案内図

資料 2-2

● 訓練場所

← 観覧経路



非常招集訓練
 災対本部設置訓練
 訓練開始申告
 通信訓練・被害状況調査訓練

避難所開設、避難、避難所運営訓練
 応急救護訓練
 AED取扱い訓練
 児童の避難訓練(ほばら児童クラブ)
 救助訓練(防災ベグ)
 原発事故災害対応訓練
 災害ボランティアセンター設置訓練
 初期消火訓練
 炊出し、配給、給水訓練
 保原小学校防災施設設置・操作確認訓練
 閉会式